

2018年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

配布数5/回答5

事業所名

Alucu2号館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	事業所から
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			・利用定員が多い時や、調理などのプログラムに困らない様に、机などの準備ができています。	・法令で定められたスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	3	2		・利用者の急なキャンセルにより、スタッフ>利用者の割合になっている日があります。改善の余地があると思います。 ・個別対応が必要な子どもが複数いる時には少ないと感じる事があります。	・法令で定められた配置数にプラスして配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1			・スタッフが補助しています。 ・現在は、補助を必要と感じる際には素早く支援に回り対応出来ている。現時点では問題なく過ごせていますが、バリアフリーの設備は整っていません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			・毎週1回ミーティングを実施し、又その記録を回覧しています。	・職員の意見をミーティングで話し合っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				・アンケートを通してより良い施設作りを目指していきたいと思っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3				・ホームページにて結果を公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・毎週ミーティングでテーマに沿って議論しています。 ・毎週1回ミーティングの中で必要に応じて実施しています。	・研修の機会を設けたり、ミーティング時に勉強会を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				・モニタリングの際には家族面談を行い、ご家族のニーズを基に課題を支援会議にて検討し支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3				

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	事業所から
適切な支援の提供	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・スタッフの意見を聞いたうえで、管理者が立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・週単位で毎日違うプログラムをしています。	・1ヶ月単位でプログラムを作成し、固定化せず尚且つ安心して過ごせるように努めています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5				・プログラムを設定して楽しく活動できるように支援しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				・自由に過ごせる時間と集団で行うプログラムを行い、よりよい支援につながるよう努めています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2		・平日以外は実施しています。 ・情報の共有を行い、スタッフ間のコミュニケーションにも気を配っています。	・申し送りなどにて支援の内容や役割分担を確認しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		・毎週1回のミーティングにおいて振り返りをしています。 ・気づいた点等は、なるべくその日の内に管理者等に伝え少しでも早く改善につながるよう心がけています。	・気づきを記録し、ミーティング等で話し合いを行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・個別の連絡帳により行っています。	・子どもたちの活動状況を記録し共有できるようにしています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				・半年に一度はモニタリングを行い、成長に合わせて支援計画を作成しています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	1			

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	事業所から
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3				・管理者・児童発達支援管理責任者が会議に参加しています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			・送迎の際に、担任の先生と顔を合わせる機会を有効にすることが大事だと思います。	・学校により対応が違うため、基本的にはご家族を通して行っています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2				
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3				・現在は行っていませんが、状況に応じては連携の必要性を感じています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2				・卒業後に向け、就労施設の情報提供や夏休みに施設見学会を開催しています。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2		1	・地域自治会との交流を実施しています。	・年に一度ですが地域のもちつきイベントに参加させてもらっています。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2				
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・連絡帳により実施しています。 ・送迎の際に行う保護者の方とのやりとりも、利用者支援の改善等へ向けて良い機会だと思います。	・状況や課題など連絡帳や送迎時に伝えています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2		・保護者との懇談会を実施しています。	・家族交流会などを通してより良い支援につながるよう努めています。
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				・契約時などに説明を行っていますが、職員間でも周知できるように努めています。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	事業所から
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			・懇談会を実施することで支援を行っています。	・家族面談や電話相談など必要に応じて行っています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			・懇談会を実施することで支援を行っています。	・定期的に保護者交流会が行われていますが、参加者が増える様に工夫する必要があります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				・意見箱の設置や苦情解決マニュアルを作成し対応しています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			・毎月プログラムや行事の予定表を配布しています。 ・ホームページで公表しています。 ・毎日活動内容をフェイスブックにて発信しています。	・毎月予定表を配布しています。
	35 個人情報に十分注意している	5			・重要書類は保管し、不要な物はシュレッダーにかけて処分しています。	・十分注意していますが、今後も意識向上に努めていきます。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・ミーティング等でマニュアルを作成しています。 ・個々に合った声掛け等、配慮し常に意識して支援を行っています。	・特性に合わせて対応できるように努めています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1		・地域自治活動に参加しています。 ・年末のもちつき参加等で地域の方との交流を行っています。	・事業所の行事に地域住民の方が参加することはありませんが、地域の行事に参加させていただいています。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	事業所から
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1			・施設内にマニュアルを掲示しています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				・年に2回、避難訓練などを行っています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1		・週1回のミーティングの中で必要に応じ実施しています。	・職員ミーティングなどで話し合う機会を設けています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2			・開所から現在に至るまで身体拘束を必要とした事はありません。	・身体拘束マニュアルを作成しています。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2		1	・対象となる子どもがいません。	・契約時に確認を行っていますが、医師の指示に基づく対応は行われていません。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				・ヒヤリハット事例集は作成してありますが、今後はもっと活用できるように検討していきます。